

発行日: 2024-09-09

バージョン 1

1: 化学品及び会社情報

製品名 PTMScan® Trypsin, Mass Spectrometry Grade

製品番号 72969

安全データシートの提供者の詳細

製造業者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

販売業社

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学薬品の推奨用途および使用制限

推奨用途及び使用上の制限 ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS - 分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
呼吸器の感作	区分 1
皮膚の感作	区分 1

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 - 強い眼刺激
H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

注意書き

安全対策

取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。換気が不十分な場合には呼吸用保護具を着用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

対応

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗

浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

廃棄

内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
トリプシン	100	情報なし	11-(2)-267	9002-07-7

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動する。呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。医師に相談する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。炎症が続く場合は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。洗っている間、目を大きく開くこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師に相談する。
予想される急性症状及び遅発性症状	眼刺激。皮膚刺激。呼吸器刺激性。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。 粉末消火剤 二酸化炭素(CO ₂) 水噴霧 耐アルコール泡消火剤
使ってはならない消火剤	情報なし
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行うときは、必要に応じて自給式呼吸装置を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	保護具を使用する。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。粉じんの形成を避けること。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。十分換気されているか確認すること。
緊急措置	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項	詳細情報については項目12を参照。
封じ込め方法	粉末状の漏出物をプラスチックシートまたは防水シートで覆い、拡散を最小限にする。塵雲を防止する。
浄化方法	粉じんの形成を避けること。ほうきで集め、シャベルで適切な容器に入れて廃棄すること。適切な密封容器に保管して廃棄すること。汚染された表面を十分に浄化すること。
二次災害の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。保護具を着用する。皮膚および眼との接触を避ける。粉じんの形成を避けること。粉塵が発生する場所では、換気を適切に行う。更なる加工、取扱い、またはその他の手段の間に微粒子が生じた場合、空气中で爆発性の粉じん濃度を生じるおそれがある。十分換気されているか確認すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸保護具を着用する。
----------	---

保管

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。光から遮断すること。?°C以下の温度に保ちます。
------	---

8. ばく露防止及び保護措置

技術的対策	シャワー 洗眼ステーション 換気システム
ばく露ガイドライン	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的職業性ばく露限界値	該当しない
環境ばく露防止	情報なし
個人用保護具	
呼吸用保護具	換気が不十分な場合には呼吸用保護具を着用すること。
手の保護	不浸透性手袋
眼/顔面の保護	サイドシールド付き安全眼鏡
皮膚および身体の保護	適切な保護衣を着用する

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的的特性に関する情報

特性	値
外観	
物理的状态	固体
臭い	情報なし
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし

引火性	情報なし
燃焼又は爆発の上限/下限	
下限	情報なし
上限	情報なし
引火点	情報なし
自然発火温度	
分解温度	情報なし
粘度	情報なし
溶解度	
相対ガス密度	情報なし

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化特性	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない
避けるべき条件	裸火、高温面および着火源から遠ざけること
混蝕危険生成物	強力な酸化剤
危険有害な分解生成物	熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある。 一酸化炭素 (CO) 二酸化炭素(CO2)

11. 有害性情報**急性毒性**

化学物質名	LD50 経口	LD50 皮膚	LC50 吸入
トリプシン	> 5 g/kg (Rat)	-	-

症状 眼刺激。皮膚刺激。呼吸器刺激性。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある。

製品情報

経口	飲み込むと有害のおそれ
吸入	気道刺激を引き起こすおそれがある
皮膚腐蝕性 / 刺激性	皮膚の感作を起こす可能性があります
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性	刺激を生じるおそれ
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激のおそれ
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	眼を刺激する

呼吸器感作性または皮膚感作性	皮膚接触により感作を引き起こすことがある 吸入により感作を引き起こすことがある
生殖細胞変異原性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器・全身毒性(単回)	情報なし
特定標的臓器・全身毒性(反復)	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

12: 環境影響情報

生態毒性	この製品の環境に与える影響は完全に調査されている
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積	情報なし
内分泌かく乱物質情報	この製品は、既知の内分泌かく乱物質または内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない。

13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染された梱包	空容器を再利用しないこと。

14: 輸送上の注意

<u>IMDG/IMO</u>	規制対象外
<u>ADR/RID</u>	規制対象外
<u>IATA</u>	規制対象外
<u>日本</u>	規制対象外

15: 適用法令

化学物質又は混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律
国際規則

労働安全衛生法

化学物質名	区分	含有率 %
トリプシン 9002-07-7	安衛法表示対象物質 (令和7年 4月1日以降) / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に 基づく 不浸透性の保護具等の使用義務 物質	100

16: その他の情報

発行日: 2024-09-09

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値

* 皮膚兆候

Ceiling:

+

最大限值:

感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性暴露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)

危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本GHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(国立労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

RTECS (化学物質毒性データ総覧)

世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終